

れいわ ねんど よこはまししょうがいしゃ しみんせつめいかい
令和8年度 横浜市障害者プラン市民説明会

だい き よこはまししょうがいしゃ
第4期横浜市障害者プラン

れいわ ねんど ふ かえ
令和7年度の振り返りについて

ばっすいばん
【抜粋版】

れいわ ねん がつ
令和8年9月

よこはましけんこうふくしきよく せいしょうねんきよく きょういくいいんかいじむきよく
横浜市健康福祉局・こども青少年局・教育委員会事務局

第4期横浜市障害者プラン令和7年度振り返りについて

1 障害者プランについて

第4期横浜市障害者プランは、令和3年度から令和8年度までの6年間の計画期間として定めています。このうち、「障害福祉計画」及び「障害児福祉計画」については、3年ごとに検証と見直しを行うこととしています。

そのため、個別事業の内容の見直しや、障害福祉サービスごとに必要な利用の見込み量等を設定し、令和6年度に改定を行いました。

また、年度毎の振り返りを実施しています。

第4期横浜市障害者プラン（構成図）					
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
障害者計画					
障害福祉計画			障害福祉計画		
障害児福祉計画			障害児福祉計画		

令和6年度改定

2 第4期障害者プラン令和7年度の主な事業の振り返り

※全ての事業の令和7年度実績と振り返りは、別冊の資料に記載しています。

※令和7年度実績

○：想定した目標を達成し、想定したとおりの効果が得られた。

△：一定程度の効果は得られた。

×：想定した目標は達成できず、効果も得られなかった。

ページ 頁	じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	もくひょう 目標	ひょうか 評価	ふ かけ 振り返り
29	ち い ききょうせい 「地域共生 しゃかい じつげん 社会」の実現 む に向けた とりくみとう 取組等の すいしん 推進	ち い き かた ささ 地域のあらゆる方が、「支 て う て わ え手」と「受け手」に分かれ るのではなく、地域、暮ら し、生きがいとともに創 り、高め合うことができる ち い ききょうせいしゃかい じつげん 「地域共生社会」の実現に	すいしん 推進	○	しょうがいしゃしゅうかん 障害者週間において、 しんとし 新都市プラザでイベント じっし を実施し、さまざまな きかん れんけい ひろ 機関と連携しながら、広 しみん たい しょうがい く市民に対して障害 りかい ふきゅう けいはつ おこな 理解の普及・啓発を行

		む しょうがいしゃしゅうかん に向けた「障害者週間」など とりくみ じっし すいしん の取組を実施・推進してい きます。			いました。
31	しっぺい しょうがい 疾病や障害 かん に関する じょうほう はっしん 情報の発信	ばいたい ホームページなどの媒体 かつよう しっぺい しょうがい を活用して、疾病や障害 かん じょうほう しえん かか に関する情報や支援に関 かつどう しょうかい しみん わる活動を紹介し、市民 とうじしゃ かんけいしゃ りかい や当事者・関係者の理解 そくしん つと 促進に努めます。	すいしん 推進	△	しょうがいふくし 「障害福祉のあんない」 こうしん じょうほう はっしん を更新し、情報を発信し ました。 また、アプリ版における し せ つ じょうほうけんさく じゅうじつ 施設情報検索の充実を はか さっしばん あ 図り、冊子版と合わせて じょうほうはっしん かくだい 情報発信を拡大しまし た。アプリ版利用促進の しん き きのう しゅうち ため、新規機能の周知・ こうほう ひ つづ おこな 広報を引き続き行っ て いきます。

					さっしやくせいすう ・冊子作成数：38, 000 ぶ 部 るいけい ・アプリ累計ダウンロード すう 数：19,491件 けん れいわ ねん (令和8年 がつげんざい 3月現在)
75	こうれいか 高齢化・ じゅうどかたいおう 重度化対応 バリアフリー かいしゅうじぎょう 改修事業	りよう グループホームを利用す しょうがいしゃ こうれい る障害者が高齢になり、そ ともな しんたいきのう れに伴う身体機能の ていかとう じゅうらい 低下等により、従来のホ せつび せいかつ ームの設備で生活するこ こんなん ばあい とが困難となる場合でも、 きょじゅう 居住しているホームで あんしん せいかつ つづ 安心して生活し続けること ができるよう、バリアフリ	じっし 実施	△	2ホームにスロープの せっち よくしつ かいしゅう おこな 設置や浴室の改修を行 いました。

		^{とうかいしゅう} ^{かか} ^{けいひ} 一等改修に係る経費を ^{ほじょ} 補助します。			
83	^{いりようてき} 医療的ケア ^じ ^{しゃとう} 児・者等 ^{しえんしゃようせい} 支援者養成	^{うけいれたいせい} ^{じゅうじつ} ^{はか} 受入体制の充実を図るた ^{しよぞく} ^{しせつ} ^{じぎょうしよ} め、所属する施設・事業所 ^{とう} ^{いりようてき} 等において、医療的ケア ^じ ^{しゃとう} ^{うけい} 児・者等の受入を ^{せっきよくてき} ^{おこな} 積極的に 行えるよう、 ^{しえん} ^{ひつよう} ^{ちしき} ^{ぎじゅつ} 支援に必要な知識・技術の ^{ふきゅうけいはつ} ^{おこな} ^{しえんしゃ} 普及啓発を 行う支援者を ^{ようせい} 養成します。	^{すいしん} 推進	○	^{くに} ^{かいてい} 国のカリキュラム改訂を ^ふ ^{さいがいたいさく} 踏まえ、災害対策などの ^{あら} ^{こうざ} ^{ついか} 新たな講座を追加しまし ^{がつ} ^{がつ} た。5月から12月まで ^{いりようてき} ^じ ^{しゃとう} 医療的ケア児・者等 ^{しえんしゃようせいけんしゅう} ^{じっし} 支援者養成研修を実施 ^{にん} ^{よこはまがた} し、44人の横浜型 ^{いりようてき} ^じ ^{しゃとう} 医療的ケア児・者等 ^{しえんしゃ} ^{ようせい} 支援者を養成しました。
99	^{いどうじょうほう} 移動情報セ ^{うんえい} ンター運営	^{いどうしえん} ^{かん} ^{じょうほう} 移動支援に関する情報を ^{しゅうやく} ^{ひとり} 集約し、一人ひとりにあつ ^{てきせつ} ^{じょうほう} ^{ていきょう} た適切な情報を提供する	^{そうだん} 相談 ^{けんすう} 件数 3,60	△	^{いどうじょうほう} ^{しよくいん} 移動情報センター職員 ^{そうだんたいおうりよく} の相談対応力・コーディネ ^{のうりよく} ^{こうじょう} ^{はか} ネット能力の向上を図

	とうじぎょう 等事業の すいしん 推進	ことや、移動支援を支える 人材の発掘・育成を行う 移動情報センターを全区 に設置し、市内のどの地域 でも移動支援の仕組みを 効果的に利用できるよう にします。 すいしん 推進にあたっては、障害 種別に関わらず利用しや すい仕組みとなるよう、 移動に関連する社会資源 との連携を更に進めてい きます。	0件		るために新任職員向け 研修や担当者会議を 実施しました。 また、各区の推進会議で 相談内容の事例共有や 区域の移動に関連する 社会資源との連携を深 めました。 引き続き、移動情報セン ターの周知を図り、相談 件数の増加を図ります。 【相談件数】 令和7年度:2,536件
--	--	---	----	--	---

107	よこはましこうきょう 横浜市公共 サインガイド ラインの うんようすいしん 運用推進	こうてききかん せっち 公的機関により設置され ほ こうしゃようあんない ゆうどう る歩行者用案内・誘導サイ きかく ひようじないようとう ンの規格や表示内容等の とういつ はか 統一を図るためのガイドラ うんよう インの運用を推進します。 こうきょう けいさい また、公共サインの掲載 きじゅんとう ひつよう おう 基準等について必要に応 みなお けんとう じて見直しを検討し、より ほ こうしゃ わ 歩行者に分かりやすいサイ せいび すす ン整備を進めていきます。	すいしん 推進	△	こうきょう けいさいきじゅん 公共サインの掲載基準 とう みなお 等について、見直しの ひつようせい 必要性がありませんでし ひ つづ た。引き続き、ガイドライ うんよう すいしん ンの運用を推進するとと ほ こうしゃ もに、より歩行者にわか りやすいサイン整備を ゆうどう 誘導していきます。
-----	---	---	--------------------	----------	--

107	エレベーター 設置事業	エレベーターの整備など、 学校施設のバリアフリー化 を進め、障害児が学びやす い環境を整備します。	すいしん 推進	△	エレベーター設置予定 35校のうち、23校への 設置が完了しましたが、 入札不調等により、12 校への設置工事は令和8 年度に繰越しとなりました。
115	ざいたくりょうようじ 在宅療養児 の地域生活 を支えるネ ットワーク れんらくかい 連絡会	しょうがいじ しゃ いりょう にゅういん 障害児・者の医療(入院・ 在宅)に関わる医療関係者 を中心に、福祉・教育関 係者を対象として、在宅 支援に必要な情報交換や 人的交流を通じて、障害 理解を促進します。	すいしん 推進	△	いりょうてき じ しゃなど 医療的ケア児・者等 支援者養成研修修了 者に対するアンケートを 実施し、地域における 在宅療養児の受入状況を 確認しました。

116	じゅうどしょうがいしゃ 重度障害者 とうにゅういん じ 等入院時コ ミュニケーシ ョン支援 事業	にゅういんさきいりようき かん い し 入院先医療機関の医師・ かん ご しょう い し そつう 看護師等との意思疎通が じゅうぶん はか しょうがいじ 十分に図れない障害児・ しゃ たいしょう にゅういんさき 者を対象に、入院先にコ ミュニケーション支援員を は けん 派遣します。	すいしん 推進	△ にゅういんさきいりようき かん 入院先医療機関の い し かん ご しょう い し 医師・看護師等との意思 そつう はか 疎通が図れるよう、コミ ュニケーション支援員を は けん 派遣しました。 いっぼう しんがた 一方で、新型コロナウイルス かんせんしょうい こう けんすう 感染症以降、件数が げんしょう しょうきょう 減少している状 況が さくねんどうようつづ 昨年同様続いています。 は けん けんすう 【派遣件数】 れいわ ねんど けん 令和5年度:10件 れいわ ねんど けん 令和6年度:3件 れいわ ねんど けん 令和7年度:2件
-----	---	--	--------------------	---

					そうはけんじ かん 【総派遣時間】 れいわ ねんど じかん 令和5年度:364.5時間 れいわ ねんど じかん 令和6年度:31.5時間 れいわ ねんど じかん 令和7年度:34.5時間
134	パARENTト レーニング じっししゃ 実施者の ようせい 養成	こ ほんにん しえん あ 子ども本人への支援と合 じゅうよう ほごしゃ わせて重要である保護者 しえん おも への支援として、主に しょうがいじつうしょうし えんじぎょうしょうとう 障害児通所支援事業所等 しょくいん たい において、職員に対しペア じっししゃ レントレーニング実施者 ようせいけんしゅう おこな 養成研修を行います。	すいしん 推進	○	じゅこうしゃ そくざ ほごしゃ 受講者が即座に保護者 しえん じっし げんば 支援を実施できる、現場 そく ないよう けんしゅう に即した内容の研修や パARENTトレーニングの じっしほうほう まな 実施方法を学べる せんもんてき けんしゅう じっし 専門的な研修を実施し ました。
145	しょうがいとくせい 障害特性に おう きょういく 応じた教育 じゅうじつ の充実	こべつし えんがっきゅう くわ 個別支援学級に加えて、 いっばんがっきゅう 一般学級においても、 とくべつ しえん よう じどう 特別な支援を要する児童	じっし 実施	○	けいけんねんすう べつ おう 経験年数やテーマ別に応 けんしゅう おこな じた研修を 行いまし とくべつし えん がっこうきょうゆ た。特別支援学校教諭

せいと ぞうか しえん
生徒が増加し、支援の二
たようか じょうきょう
ズが多様化している状 況
ふ
を踏まえ、ケーススタディ
じゅうし けんしゅう じゅうじつ
を重視した研修を充実さ
すべ きょういん
せます。全ての教員が
しょうがい じょうたい とくせい おう
障害の状 態や特性に応じ
しどう しえん おこな
た指導・支援が行 えるよ
せんもんせい こうじょう はか
う専門性の向上を図りま
す。
しょう ちゅうがっこう きょういん
また、小・中学校の教員
とくべつし えん がっこうきょうゆ
が特別支援学校教諭
めんきょじょう しゅとく
免許状を取得するための
じゅこうりょうじょせい あら じっし
受講料助成を新たに実施
します。

めんきょじょうしゅとく
免許状取得のための
じゅこうりょうじょせい れいわ
受講料助成を令和2
ねんど かいし しんせいしゃ
年度から開始し、申請者
すべ こうふ
全てに交付しました。

れいわ ねんど ほじょけんすう
令和7年度補助件数:12
けん
件

146	とくべつしえんきょういく 特別支援教育 コーディネーターの機能強化とスキルアップ	とくべつしえんきょういく 特別支援教育 コーディネーター養成研修を受講して活動している特別支援教育コーディネーター(教員)を対象に、更なるスキルアップを目指して、事例研究などを中心とした研修を進めるとともに、関係機関との連携を強化し、専門的な資質を高めます。	すいしん 推進	○	【コーディネーター養成研修】 8回の連続講座に各回約349人受講 【スキルアップ研修】 全11回/延べ約61人受講 【ブラッシュアップ研修】 全6回/延べ約550人受講 【リラーニング研修】 全4回/延べ約96人受講
161	ふれあいショップ等を	あらかいぎょう じえいあーる 新たに開業する J R かんないえききたぐちこうかした しゅうろう 関内駅北口高架下の就労	すいしん 推進	△	ふれあいショップにおいて、運営を通じ就労理解

	かつよう 活用した しょうがいしゃしゅうろう 障害者就労 かん に関する りかいそくしん 理解促進	けいはつし せつ およ しちようしゃない 啓発施設及び市庁舎内の ふれあいショップをはじ め、既存きそんのふれあいショッ プ等とう うんえい つうの運営を通じて、 しゅうろう かん りかい そくしん 就労に関する理解の促進 はか を図ります。			そくしん じえいあーる を促進しました。J R かんないえききたぐちこう かした 関内駅北口高架下の しゅうろうけいはつし せつ 就労啓発施設について ひ つづ へいさちゅう は、引き続き閉鎖中 です。
--	---	---	--	--	--